

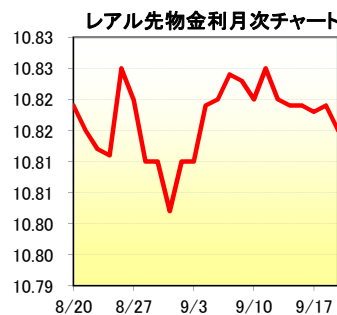
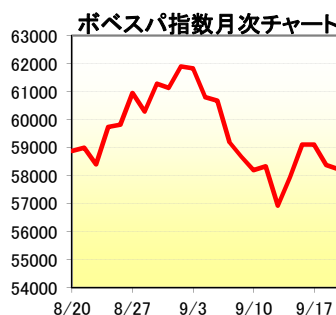
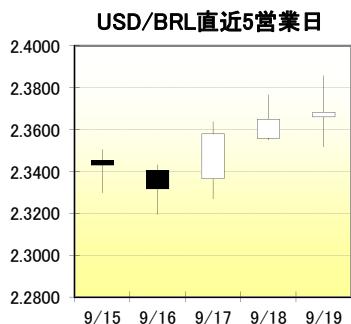
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.3430	2.3320	2.3580	2.3650	2.3680	+0.0030
	USD/YEN	Spot	107.19	107.11	108.35	108.69	109.04	+0.3500
	EUR/USD	Spot	1.2939	1.2960	1.2860	1.2925	1.2829	-0.0096
	BRL/YEN	Spot	45.75	45.94	45.95	45.96	46.04	+0.0800
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	0.96	0.94	0.99	1.02	0.99	-0.0310
		1Year(p.a.)	1.29	1.23	1.30	1.32	1.28	-0.0340
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11.03	11.03	11.04	11.05	11.08	+0.0387
		1Year(p.a.)	11.37	11.39	11.43	11.47	11.52	+0.0546
Stock	Bovespa		57,949	59,115	59,108	58,374	57,789	-585.78
Bond	CDS Brazil 5y		147.00	138.20	139.76	139.10	142.01	+2.9100
	Global 40		109.500	109.400	109.300	109.300	109.150	-0.1500

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.33%	0.31%	-0.35%	なし
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.35%	0.39%	0.14%	
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	6.57%	6.62%	6.49%	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.3450 で寄り付いた。
- 週初に発表された中銀のアナリスト予想調査では、2014 年の GDP 見通しが前回の 0.48%から 0.33%に大幅下方修正され、2015 年の GDP 見通しも 1.10%から 1.04%に下方修正された。インフレ率予想は前回から不変(2014 年末 6.29%、2015 年末 6.29%)だったが、2015 年末の政策金利予想平均が 11.63%から 11.50%に引き下げられた。
- FOMC 声明文発表の前日には米 WSJ 紙から、FOMC でフォワードガイダンスの文言が変更されないかも知れないとの憶測記事が出たことを切欠にドルが急落した。中国人民銀行が中国 5 大銀行に 5,000 億元の流動性を供給すると発表されたこともあり、レアルは週間高値となる U\$1=R\$2.3200 をつけた。
- 週中に発表された FOMC ではフォワードガイダンス文言には期待された変化はなかったが、政策金利の予想が引き上げられたことを材料に、ドルが全面高の展開となった。レアルは 2.37 台半ばまで下落した。
- 週末にかけてはアイルランド独立が否決されたことを受けて、アジア市場中心に株式市場の堅調な動きが見られたが、ボベスパ指数は高値警戒感から続落した。レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.3850 を示現し、結局 U\$1=R\$2.3680 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/22	税収	Aug	92200M	98816M
9/22	貿易収支(週次)	Sep-21	--	\$57M
9/23	FGV CPI IPC-S	Sep-22	--	0.39%
9/24	FGV消費者信頼感	Sep	--	102.3
9/24	経常収支	Aug	-5300M	-\$6018M
9/24	対内直接投資	Aug	\$4300M	\$5898M
9/25	FIPE CPI-週次	Sep-22	--	0.17%
9/25	FGV建設コスト(前月比)	Sep	0.15%	0.19%
9/25	失業率	Aug	--	--
9/25	Federal Debt Total	Aug	--	2173B
9/25	長期レート	Oct-01	5.00%	--
9/26	PPI 製造業(前月比)	Aug	--	-0.29%
9/26	PPI 製造業(前年比)	Aug	--	3.45%
9/26	ローン残高(前月比)	Aug	--	0.20%
9/26	融資残高	Aug	--	2835B
9/26	個人ローンデフォルト率	Aug	--	6.60%
9/26	Private Banks Lending	Aug	--	1335B

## 6.来週の為替市場注目点

## 予想相場レンジ：2.30－2.40

今週の為替相場は、前週に続いてドル全面高の展開となった。FOMC では資産買取終了後も”considerable time”はゼロ金利を継続するという前回同様の表現が使用された。一方、各メンバーの政策金利見通しの加重平均が引き上げられたことを受けて、利上げのペースが速まるとの見方からドルが買われた。先週のサンフランシスコ連銀調査レポートでかなり先取りでFOMC を織り込んでいたと思われたが、FOMC 後に明確なフォワードガイダンス文言の変更なしにここまでドルが変わったことはやや意外感もあった。結局、レアルは本年2月以来7ヶ月ぶりに2.38 台まで下落。ドル円は6年1ヶ月ぶりに109 円台まで上昇した。

レアルに関しては達成感という意味では2.4000 までの下落も十分あり得るが、10 月の大統領選に向けて、来週は利食いやポジション調整が開始する頃だろう。9 月に入って2.22 台後半から2.38 台半ばまで1500pips 以上も略一直線に下落しており、調整が入る可能性が高い。来週はFOMC メンバーの地区連銀総裁が相次いで講演を行うが、市場がドル利上げ期待に傾いている所から、ハト派ニュアンスに対するドル失望売りで反応しやすいと見ている。レアルは9 月の下げの半値戻し(2.3060)程度の調整はあって然るべきと予想する。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department